

平成28年1月12日
話題事項
平成28年1月7日
資料提供済

和歌山県第3弾

『大学のふるさと』調印決定!!



関西大学



田辺市

Tanabe city Wakayama Japan

この度、**関西大学**（大阪府吹田市）と**田辺市**が主旨に賛同し、「大学のふるさと」として地域交流事業を実施することとなりました。

『大学のふるさと』制度（詳細別紙参照）は、人口の減少や少子高齢化の進行により地域活力が低下している過疎地域において、人材育成における実践的教育や社会的責任として地域貢献活動に対する関心が高い大学が、地域の方々とともに地域課題の解決に向けた協働活動を行い、継続的に交流する取組です。

■ 関西大学とのふるさと協定調印

関西大学と田辺市が、県知事立ち会いの下、調印式を実施します。

- 日時：平成28年1月13日（水）14：50～
- 場所：知事室
- 出席予定者：楠見 晴重（くすみ はるしげ）関西大学学長
真砂 充敏（まなご みつとし）田辺市長
仁坂 吉伸（にさか よしのぶ）和歌山県知事

■ 関西大学と田辺市による取組

都市・地域間交流促進

+

観光交流・担い手創出

「都市交流ツアー企画・実施・検証」

- ・大学生と堺市の小学生、田辺市本宮町の地元住民が自然体験キャンプを通じ交流（熊野本宮子どもエコツアー）
- ・教員をめざす学生による地元の子どもへの学習支援

「受け入れ側からの観光提案」

- ・熊野本宮の地域資源調査、着地型ツーリズムメニュー開発
- ・地域内の旅館等へのインターンシップ受入計画・実施
- ・地域行事等における活動支援

※今回、「大学のふるさと」協定と併せ、「企業の森」協定も締結します。

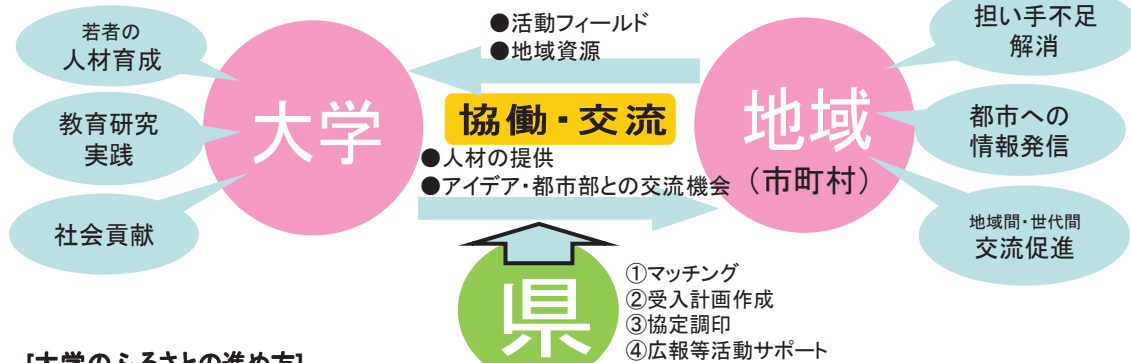
※「大学のふるさと」、「企業の森」両方の取組に参画するのは、関西大学が初めてです。

担当	県	田辺市	関西大学
	過疎対策課 柏木・船富	企画広報課 松本	社会連携グループ 木下
電話	073-441-2930（内線 2360）	0739-26-9963	06-6368-1032

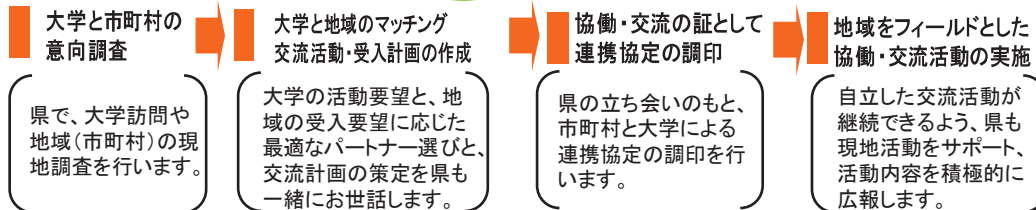
概要

都市部の大学と地域の連携をトータルでサポート、継続的な交流を推進

- <目的> ●地域においては、大学の知力や人的パワーを地域活性化に活かす
 ●大学においては、学生の育成、研究・実践及び社会貢献の場
 ●地域間、世代間交流につなげ、大学卒業後も将来にわたり続く関係を構築
- <しくみ> ●過疎化や高齢化に伴う様々な課題を抱える地域と、活動フィールドを求める都市部の大学のニーズを**マッチング**
 ●大学と地域(市町村)の継続的な連携を総合的に**サポート**



[大学のふるさととの進め方]



〔和歌山県「大学のふるさと」事業のこれまでの協定実績〕

第1弾 ■羽衣国際大学と湯浅町

- 羽衣国際大学（大阪府堺市）
- 協定日：平成26年9月1日
- 取り組みのテーマ

「域学交流と食文化発信により、町中の賑わい創出」

第2弾 ■摂南大学とすさみ町

- 摂南大学（大阪府寝屋川市）
- 協定日：平成26年10月8日
- 取り組みのテーマ

「地域間・世代間の交流と、防災・まちづくり」

■摂南大学と由良町

- 摂南大学（大阪府寝屋川市）
- 協定日：平成26年10月8日
- 取り組みのテーマ

「地域間・世代間の交流と、薬草・特産品による産業振興」